

神奈川県移動性(モビリティ)向上プロジェクトを開始しました

～「神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会」の設置について～

－ 記者発表資料 －

道路利用者の実感・意見を踏まえ、

神奈川県内の移動性(モビリティ)阻害箇所の選定を行います

- ◆ 道路は生活に欠くことのできない社会基盤であり、その重要な機能として移動性の確保があります。しかし、現実には渋滞等の交通条件、地形、気象・自然条件、災害など様々な要因により、地域の経済活動、住民生活に多大なストレスと損害が生じています。
- ◆ 国土交通省は、移動性の阻害要因となっている事象を様々なデータと指標で明示するとともに、道路利用者の実感・意見等を踏まえ、阻害箇所の選定・公表を行い、対策を立案して重点的に阻害要因の改善を図るため、新たに「神奈川県移動性(モビリティ)向上プロジェクト」を開始しました。
- ◆ プロジェクトは、広く道路利用者にごプロジェクトの取り組みを知ってもらうこと、参加してもらうことを基本とし、公正、中立な立場から意見を頂くため横浜国立大学大学院中村文彦教授を委員長とする「神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会」を設置し、第1回委員会を平成17年11月10日に開催しました。

第1回委員会での主な意見

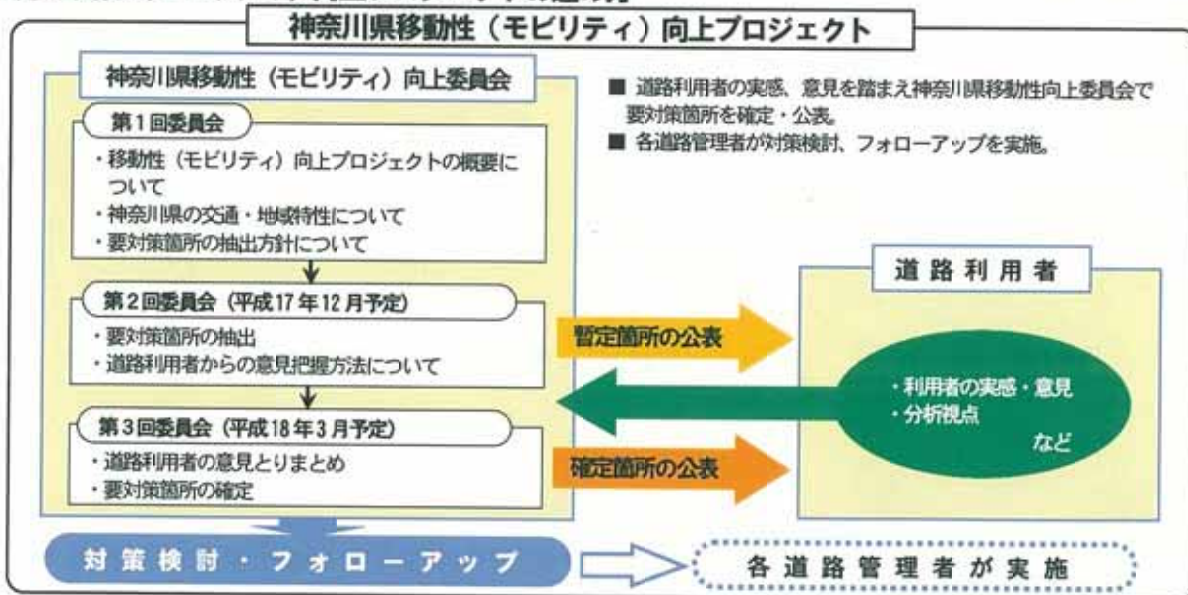
1. 委員会の運営について

次回以降の委員会は、会議の公開を原則とする。

2. 阻害箇所の選定方法について

- (1) 対象道路は、有料道路を除く主要地方道以上の道路とし、車の移動に着目してその阻害箇所を選定する。
- (2) 阻害箇所は、最初から箇所数を限定するのではなく、データ等から阻害箇所と想定される全箇所について委員会でその阻害要因を議論する。また、阻害箇所のくくり方は、箇所・路線・エリアなど、阻害要因に応じて設定する。
- (3) 渋滞等の阻害要因は、現況の自然渋滞を対象とし、その分析にあたっては、既存データを基に時間帯別・方向別・平日休日別などの視点を入れて実施する。また、交通規制等の状況もあわせて整理するものとする。

◆ 神奈川県移動性(モビリティ)向上プロジェクトの進め方



平成17年11月15日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会
神奈川県政記者クラブ	横浜市政記者会
川崎記者クラブ	横浜海事記者クラブ

お問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

調査第一課長：竹林 秀基 たけばやし ひでき 電話：045-316-3536 (調査第一課直通)